

**問題81** 腰椎椎間板ヘルニアの急性期の治療で適切でないのはどれか。

1. 薬物療法
2. ダーメンコルセット装着
3. 活動制限
4. 腰椎間欠牽引
5. 硬膜外ブロック注射

**問題82** 腰椎椎間板ヘルニアの慢性期の指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 膝を曲げて寝る。
2. 背もたれのない腰掛けを使う。
3. 中腰で物を持つ。
4. あぐら座位で座る。
5. Williams 腰痛体操を行う。

**問題83** 関節リウマチの足部の変形で起こりにくいのはどれか。

1. 凹足変形
2. 扁平足
3. 踵骨の外反変形
4. 外反母指
5. 槌指変形

**問題84** 関節リウマチで Lansbury (ランスバリー) 指数が示すのはどれか。

1. 症状による診断の基準
2. 点数による関節炎の活動性
3. エックス線による骨関節破壊の程度
4. 日常生活制限の程度
5. 顔の絵による QOL の評価

問題85 足関節で内反捻挫が起こりやすい理由はどれか。2つ選べ。

1. 背屈位で不安定になる。
2. 内果に比べ外果の骨性制限が小さい。
3. 内側の靭帯が外側に比して脆弱である。
4. 底屈に伴い回外が生じる。
5. 外がえしに作用する筋が少ない。

問題86 大腿義足の異常歩行と原因の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 外側ホイップ—————膝継手軸の外旋
2. 義足側外転歩行—————初期内転角の不足
3. 健側肢の伸び上がり—————ソケット内壁の高さ不足
4. 義足側分回し歩行—————義足長が短い
5. 義足側への体幹側屈—————切断側外転筋の筋力低下

問題87 下肢装具療法の組合せで適切でないのはどれか。

1. 下垂足—————プラスチック AFO
2. 内反尖足—————金属支柱付き AFO
3. 内反膝—————スウェーデン式 KO
4. 膝折れ—————リングロック式膝継手付き KAFO
5. 膝屈曲拘縮—————ダイアルロック式膝継手付き KAFO

問題88 両側金属支柱付き長下肢装具のチェックで正しい組合せはどれか。2つ選べ。

1. 外側支柱の高さ—————上前腸骨棘から2～3cm下方
2. 内側支柱の高さ—————会陰部から2～3cm下方
3. 膝継手の高さ—————膝関節の関節裂隙
4. 下腿半月上縁の高さ—————腓骨頭から2～3cm下方
5. 足継手の高さ—————外果下端と内果突出部とを結ぶ線

**問題89** 糖尿病の運動療法で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 尿ケトン体陽性時に効果が高い。
2. 食後すぐに運動を開始する。
3. 網膜症がある場合には運動強度を軽くする。
4. 低血糖に備えて常に糖質を携帯する。
5. 空腹時血糖値が高いほど運動量を増やす。

**問題90** 脳卒中片麻痺患者に対する短下肢装具において、靴べら型装具に比べ背屈遊動・底屈制限の継手付装具が有利な点はどれか。2つ選べ。

1. 装着しやすい。
2. 坂道を下りやすい。
3. しゃがみ込みがしやすい。
4. 麻痺側遊脚期に振り出しやすい。
5. 麻痺側立脚期の重心の前方移動を妨げない。

**問題91** 足の内側縦アーチの不全に対する靴の補正で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 中足骨パッド
2. 舟状骨パッド
3. 月形しんの延長
4. 逆トーマス・ヒール
5. 外側ソールウェッジ

**問題92** 杖について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. T字杖の握りは腸骨稜の高さにする。
2. 杖には支持基底面を広げる機能がある。
3. カナディアン杖は体重を1点で支持する。
4. 患肢の免荷では杖を健側につくことを原則とする。
5. 杖で階段を上がるには杖、患側、健側の順に接地する。

問題93 杖歩行の動作と筋の組合せで誤っているのはどれか。

1. 三角筋前部——杖の振り出し
2. 上腕三頭筋——体重の支持
3. 烏口腕筋——肘関節の安定
4. 深指屈筋——握り手の固定
5. 長橈側手根伸筋——握り手の強化

問題94 健常者の姿勢と呼吸機能の組合せで正しいのはどれか。

1. 背臥位——換気血流不均等が起きにくい。
2. 背臥位——胸郭背側の動きが良い。
3. 側臥位——両肺の換気量に左右差を生じる。
4. 座位——胸郭の動きが制限される。
5. 座位——横隔膜の動きが制限される。

問題95 心筋梗塞後の包括的リハビリテーションの効果として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 安静時心拍数の増加
2. HDL コレステロールの低下
3. 最大酸素摂取量の増加
4. 安静時血圧の低下
5. 中性脂肪の増加

問題96 高齢者の筋力について誤っているのはどれか。

1. 上肢よりも下肢の筋力低下が大きい。
2. 筋力強化によって筋肥大が期待できる。
3. 筋断面積は経年的に減少する。
4. タイプⅡ線維よりもタイプⅠ線維の萎縮が優位である。
5. 筋力強化の初期効果は運動単位動員の増加による。

問題97 高齢者の転倒について誤っているのはどれか。

1. 向精神薬の内服は危険因子の一つである。
2. 片麻痺合併者では患側の骨折を合併しやすい。
3. 開眼片足立ち時間は転倒リスクの指標として用いられる。
4. 転倒高リスク群ではTUG(Timed up and go test)時間が短い。
5. ヒッププロテクターは大腿骨頸部骨折の予防に用いられる。

問題98 運動学習の効率について正しいのはどれか。

1. 休憩は多いほどよい。
2. 覚醒度は高いほどよい。
3. フィードバックは多いほどよい。
4. 練習動作の難易度は低いほどよい。
5. 練習動作は基準課題に似ているほどよい。

問題99 車椅子に求められる機能と改造の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 段差の容易な乗り越え———小さなキャスター輪を採用
2. 容易なキャスター上げ———後輪の車軸を前方へ移動
3. 側方安定性の向上———キャンバー角をプラス方向に設定
4. 右片麻痺者の使用———左ブレーキレバーを延長
5. 低把持力者の使用———ノブ付きハンドリムを採用

問題100 理学療法士及び作業療法士法で誤っているのはどれか。

1. 昭和40年に制定された。
2. 守秘義務は退職後も継続する。
3. 外国籍の者も免許を取得できる。
4. 都道府県知事は免許を取り消すことができる。
5. 免許を紛失した場合再交付を申請できる。

